



RD 7 03. 7. 30.

「先代から受け継ぎ、次代へ繋ぐ」

今回のインタビューは、登戸教云南ちよ子先生です。昭和三年に金光教とは無縁のご家庭に生まれられて、二十才の時に結婚。ご主人の実家が金光教の教会とは知らずに教会家庭に嫁がれました。

☆嫁がれた頃は、教会はどんな感じでしたか？

「戦争が終わった頃で、この登戸教会周辺には軍需工場があったため爆撃がひどく、ご信者さんもみんな疎開したり遠のいたり、お参りする人は少なかったです。」

そんな中、誰もお参りがなくても、先代の親先生は朝に夕にご祈念されていました。」

☆先生は金光教の事を何も知らないまま嫁がれて、大変だったのではないですか？

「私は結婚前も、神棚や仏壇に手を

合わせていたので、金光教のことやご祈念に対して抵抗はありませんでした。先代の親先生は勝気な方で、ついていくのは大変でしたが、あの頃に色々教えられ、学ばせて頂きました。」

☆その後、ご主人ではなく、ちよ子先生が教会長になられたのですか？



川でスバって山でコロんで…とってきました

interview

第5回 南ちよ子先生 (登戸教会)

「主人は京王帝都電鉄で働いていて、普段は教会には居りませんでしたので、大変でした。しかし本人は、信

心が嫌なわけではなく、むしろ信心はありがたいと思っていました。」

六十才で定年退職してからは、七十才で亡くなるまで朝・夕のご祈念を始め、輔教の御用もしておりました。

私は、先代先生が亡くなられてからしばらくして、教会長にならせて頂きました。昭和四十一年の頃でした。」

☆そして現教会長(清孝先生)に交代されたのですか？

「はい、平成八年がちょうど登戸教会の開教六十年祭でしたので、その時に教会長を退いて、現教会長に交代を致しました。」

☆振り返って、一番大変だった頃はいつでしたか？

「そうですね。子供達が小・中学校の頃でしょうか。先代先生が亡くなられ、教会を空けるわけには行きませんから、子供の授業参観などに一度も行ってあげられなかったことなどです。しかし、昔はみんな今のようには休みも多くなかったですので、子供達も仕方がないと思っていたようです。わがままもほとんど言うことがありませんでした。」

☆今日はいつもありがとうございます。

— 則 —



↑予定変更で動物園へ行っちゃいました。

信奉者のつどい in こどもの国

☆雨だったけど…

去る、6月28日に横浜市にある「こどもの国」において、「信奉者のつどい」が行なわれました。参加者は30人でした。

朝、家を出るときは小雨が降っていましたが、現地に着いたら雨も止み、傘いらずで一日過ごせました。(神様、ありがとう!!)

それでも当初の企画のオリエンテーリングは変更し、皆で動物園に行くことにしました。可愛い動物たちを近くで見た後は、野外炊飯場でバーベキュー(ワクワク)。支度が出るまでの間、子供たちは、スタッフのお姉さんたちとクイズを楽しみました。

『読んでいるとツーンと酸っぱい臭いがしてくる小説は何?』(答えは後で…)と、トンチの効いた問題や、御教えを使った問題などにチャレンジ!スゴク盛り上がったし、勉強にもなりました。

そのおかげで、その後のバーベキューはとっても美味しかったです。

そして解散…のはずだったのですが、子供も大人も、近くの池での川エビ釣りに熱中(笑)。何も道具がないところから、工夫してエビ釣りをする子供たちに関心してしまいました。

自然を相手に遊ぶ子供たちの顔はイキイキしていて、「こういうことって大切だなあ…」と、改めて思いました。

とても楽しく、充実した一日を過ごさせて頂きました。

☆スタッフの育成

そして、このイベントにはもう一つ大きな目的がありました。若いスタッフの育成です。

今回、事前のスタッフ会議にも、高校生・大学生など若い人たちに、早い段階から参加してもらいました。参加した高校生の感想はというと「楽しかった。またやりたいです。」というものでした。

ぜひ、次回も御用してもらいたいです。

★クイズの答え→推理(酔入り?)小説

…みんな、わかったかなあ…?

— 恵 —

↓川エビ釣ってま…あれ?すくってる…の?



「教祖120年奉祝 講演集会」開催

七月五日(土)、横浜市西公会堂を会場に、神奈川山梨聯合会の教祖一二〇年奉祝講演集
会が開催されました。

梅雨空が続く中、当日は雨が心配されまし
たが、お天気のおかげを頂きました。二県に
またがる当連合会は、距離的なこともあり、
行事開催の度に多くの方が参加できるか心配
されますが、会場の遠近にかかわらず、声を
かけ合いがなされ、三百人以上の方が参加さ
れました。



集会は、

鈴木重光先
生(野毛教
会)の先唱
による御祈
念(天地書
附奉体と神
奈川山梨布
教祈願詞)
で始まりま
した。続け
て、連合会
長で今回の

実行委員長でもある南清孝先生(登戸教会)が、
「本年は、教祖金光大神様が神上がられまし
て百二十年という記念のお年柄を迎えさせて
頂きました。」

また、昨年は神奈川県に金
光教の布教が開始されて百十
年、来年には山梨県に布教が
開始されて百十年という、当
連合会にとりましても記念の
お年柄を迎えます。

この記念のお年柄を迎え、
今日金光教の信心ができる有
難さ、喜びを、改めて一人々々
が実感すると共に、今日の集
会の講演と映画を通して、教
祖金光大神様の「信心の内容
を各自が頂き直して、世と人
の助かりに向けて、今ここか
ら神様のお役に立たせて頂き
たいと願います。」と挨拶し、
奉祝行事開催の願いと意義を
確認しました。

その後、特別講師としてお
招きした、金光教総務部長の
久保田紘二先生から、『金光
大神「ご出現のロマン」と題した講演を頂きま
した。その中で久保田先生は、教祖様の御生
涯の中から四つの特徴的な点を挙げてお話し



で生まれた御教えの数々が、私達の視覚、聴
覚を通して、リアルに心に伝わってきました。
まるで、生きた教祖様が語りかけてくださっ

教祖様は新しい視点を持つてお
特に男尊女卑という時代社会に
あって女性の解放を説かれるな
ど、それまでの世界観、人間観
を覆すようなことを教えられた
こと。二つ目には、天地の道理
を明らかにされたこと。つまり、
人間が天地の神のお働きの中で
存在せしめられているという物
事の考え方の基本を教えてくだ
さったこと。三つ目には、日天
四、月天四に加えて、金乃神と
いう他の宗教にも例を見ない
「大地の神」を世に出されたこ
と。四つ目には、日本だけでなく、世界の救済を視野に納めて
おられること。以上を例を挙げ
ながらわかりやすくお話し下さ
いました。

講演の後、休憩をはさみ、教
祖百年祭を記念して作られた映
画「おかげは和賀心にあり」が
上映され、教祖様と教祖様を取
り巻く人々との関わり合いの中

ているかのように。

会場内では感動で涙する方も多く、「よくぞ教祖様がこのお道を開いてくださったとありがたい思いで胸がいっぱいになった」「このお道に生かされている喜びと、教祖様のご恩を改めて感じた」「懐かしい四代様のお姿を拝し、ありがたかった」という声が聞かれました。

最後に、連合会副会長の須賀院明德先生(武蔵小杉教会)が、すばらしい集会になったお礼と、秋に刊行される教祖伝を通して教祖様のご信心を頂き直すこと、秋の首都圏団体参拝に参加して奉祝の祈りを結集させていくことを促す挨拶があり、全員で天地書附を奉体し、感動の中ですべてのプログラムが終了しました。

なお、今回は別室に託児所が設けられ、子ども達も、御用奉仕の方たちに見守られながら、ビデオや工作などで楽しいひとときを過ごすことができました。

また、映画の上映に当たり、この映画の企画発起人で、プロデューサーをされた膳師豊さん(品川教会)が東宝スタッフを同伴して手伝いに来てくださいました。映画を来場の方々

— 浩 —

☆公開講座 こんこうセミナー2003☆

現代社会の危機と宗教

— 金光大神出現の意味について —

☆講師：荒木美智雄氏 (筑波大学名誉教授)

☆会場：金光教東京センタービル3階

☆日時：第2回 8月2日(土)

第3回 10月4日(土)

*時間はいずれも14時～16時です

☆参加費：300円

お問い合わせは…

金光教東京センター03-3818-6321まで

☆講話と夕食の会☆

『どうする…子育て』

— 家庭で、学校で、地域で —

☆講師：吉岡裕子氏 (稲村ヶ崎小学校
など教師歴38年・鎌倉教会)

☆会場：鶴見教会

☆日時：8月30日(土)

講話—13:30～15:30

夕食会—15:30～17:00

*詳しくは近々発送予定のチラシをご覧ください。また、お問い合わせは
吉田章一郎 045-583-7400まで

やまがみ通信

〈な・が・れ〉

我々を取り巻く状況は、日増しに不安定な心もとない均衡の中におかれていくように思える。

人心の乱れは日常生活の中でも些細なこと、理由にもならないことでの殺戮や暴力となり、それが繰り返され、世界でも戦争が続く。人の心はどこに行こうとしているのだろうか。人間の尊厳、人々の博愛は未来永劫のものなのか。安寧な世の中はどう具現化すればよいのか。また過日、イラク特措法が決まり議論を呼んだ。平和や復興のために何をなすべきか。一方では資金援助さえすれば、一方では形や行動に表してこそその議論。どちらも唯一のものではない。

教祖が願われた神の心を和賀心に頂く。和賀心で我が身を助ける生き方が、世の中の平安につながることを信じて、ひとのために祈らせていただきたい。みんながひと(他人)を祈ることが出来たら世の中が変わると信じたい。世の難儀の質の多様化に教祖はどう答えを出そうとしているのか。講演集会での映画『おかげは和賀心にあり』が新鮮だっただけに、教祖を頂き直さねばと思わされた。

鶴見教会 芳村享映

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 南 清 幸

編集責任者 横山 光 雄

川崎市多摩区生田五・二四・九

金光教登戸教会内